	of your Academic resources			
Title	慶應義塾における新型コロナウイルス感染症対策			
Sub Title	Measures against COVID-19 at Keio University			
Author	西村, 知泰(Nishimura, Tomoyasu)			
Publisher	慶應義塾大学			
Publication year	2022			
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2021.)			
JaLC DOI				
Abstract	現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界的に流行し、深刻な公衆衛生上の問題となっている。慶應義塾は教育・研究機関であり、かつ医療機関を有しており、教育、研究、医療を維持していくために、COVID-19感染対策は重要である。特に、医療機関ではCOVID-19感染の発生リスクが高く、医療従事者のCOVID-19感染対策は重要である。医療従事者の適切なCOVID-19感染対策を検討するため、医療従事者である本学医学部・大学病院に所属する教職員・学生約4000人を対象に新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の感染状況を調査した。2020年10月から2021年10月までに、SARS-CoV-2に感染した者の臨床情報を調査し、感染者数の推移と感染月の箇味的特徴を解析した。感染者数は74人であった。東京都の20代から50代の感染者数の41を8と多り月が1月(28,116人)、5月(16,115人)、8月(98,364人)であったが、医療従事者の感染者数の42人であった。フクチン接種(16,115人)、8月(98,364人)であったが、医療従事者の感染者数は74人であった。フクチン接種(11,115人)、8月(98,364人)であったが、医療従事者の感染者数は7人で、ワクチン接種後の意染者の感染者数は9人、ワクチン未接種の発染ありの感染者数は9人、ワクチン未接種の発染ありの感染者数は10人で、ワクチン接種後の発熱ありの感染者数は9人、ワクチン接種が12人で、ワクチン接種が20人で、ワクチン接種が20人で、ワクチン接種が20人で、ワクチン接種が20人で、ワクチン接種が20人で、ワクチン接種が20人で、ワクチン接種が20人で、ワクチン接種が20人で、ワクチン接種が20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接種の20人で、アクチン接近の20人で、アクチン接近の20人で、アクチン接近の20人で、アクチン接近の20人で、アクチン接近の20人で、アクチンを20人で、20人でで、20人ででで、20人でで、20人で、20人でで、20人でで、20人で、20人			
Notes				
Genre	Research Paper			
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2021000005-20210010			

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2021 年度 学事振興資金(部門横断型共同研究)研究成果実績報告書 2022 年 3 月 23 日

研究代表者	所属	保健管理センター	職名	専任講師	一補助額	1,300	千円
	氏名	西村 知泰	氏名 (英語)	Tomoyasu Nishimura			1773

研究課題 (日本語)

慶應義塾における新型コロナウイルス感染症対策

研究課題 (英訳)

Measures against COVID-19 at Keio University

研究組織						
氏 名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position					
西村知泰(Tomoyasu Nishimura)	保健管理センター・専任講師					
森正明(Masaaki Mori)	保健管理センター・教授					
長谷川直樹(Naoki Hasegawa)	医学部·感染症学·教授					
宇野俊介(Shunsuke Uno)	医学部·感染症学·助教					
上蓑義典(Yoshifumi Uwamino)	医学部·臨床検査医学·学部内講師					

1. 研究成果実績の概要

現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界的に流行し、深刻な公衆衛生上の問題となっている。慶應義塾は教育・研究機関 であり、かつ医療機関を有しており、教育、研究、医療を維持していくために、COVID-19 感染対策は重要である。特に、医療機関では COVID-19 集団感染の発生リスクが高く、医療従事者の COVID-19 感染対策は重要である。医療従事者の適切な COVID-19 感染対 策を検討するため、医療従事者である本学医学部・大学病院に所属する教職員・学生 約 4000 人を対象に新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の感染状況を調査した。2020 年 10 月から 2021 年 10 月までに、SARS-CoV-2 に感染した者の臨床情報を調査し、感染者数 の推移と感染者の臨床的特徴を解析した。感染者数は 74 人であった。東京都の 20 代から 50 代の感染者数の多い月が 1 月(28,116 人)、5月(16,115人)、8月(98,364人)であったが、医療従事者の感染者数はそれぞれ 13人、1人、22人であった。3月に希望者を対 象とした COVID-19 ワクチン接種が実施された。4 月以降の感染者数は 37 人で、ワクチン接種後が 25 人、ワクチン未接種が 12 人で あった。ワクチン接種後の発熱ありの感染者数は9人、ワクチン未接種の発熱ありの感染者数は10人で、ワクチン接種後の感染者は ワクチン未接種の感染者に比べ、発熱した者の割合が有意に低かった(オッズ比 0.113、95%信頼区間 0.022-0.661)。本調査より、ワク チン接種による医療従事者の COVID-19 発症予防が確認され、ワクチン接種の有効性が示唆された。一方、ワクチン接種者が COVID-19 に罹患した場合は症状が軽微であり、COVID-19 流行下においては、医療従事者は軽微な症状でも就業を停止し、 COVID-19 の検査を受けるべきである。

2. 研究成果実績の概要(英訳)

Coronavirus disease 2019 (COVID-19) is currently a serious worldwide public health crisis. As an educational and research institute that provides medical services, it is important for Keio University to maintain measures against COVID-19. Medical institutions are at particularly high risk for COVID-19 outbreaks. Therefore, precautions against such outbreaks for healthcare workers (HCWs) are vital. To consider appropriate measures against COVID-19 for HCWs, we conducted a survey of severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2) infection with approximately 4,000 HCWs (students and faculty of Keio University School of Medicine and HCWs of Keio University Hospital) from October 2020 to October 2021. We collected the clinical information of the HCWs infected with SARS-CoV-2 and analyzed the transition of infection numbers and the clinical characteristics of infected individuals. Seventy-four HCWs were infected with SARS-CoV-2. In Tokyo, infection rates among 20-50-year olds were high in the months of January (28,116), May (16,115), and August (98,364). The number of HCWs infected with SARS-CoV-2 for the same months was 13, 1, and 22 in January, May, and August, respectively. In March 2021, the applicants of HCWs received the COVID-19 vaccination. After April, among the 37 infected HCWs, 25 had received the vaccination while 12 HCWs had never received it. Nine vaccinated and ten unvaccinated HCWs had SARS-CoV-2 infection with fever. Fever occurred less frequently among the vaccinated HCWs participants as compared with the unvaccinated HCWs (Odds ratio 0.113, 95% confidence interval, 0.022-0.661). These results indicated that the COVID-19 vaccine was effective for the prevention of COVID-19 development among HCWs. However, the vaccinated HCWs with SARS-CoV-2 infection had mild symptoms, suggesting that even with mild symptoms, HCWs should excuse themselves from work and receive screening for SARS-CoV-2 infection during the COVID-19 pandemic.

3. 本研究課題に関する発表 発表学術誌名 発表者氏名 発表課題名 学術誌発行年月 (著者・講演者) (著書名・演題) (著書発行所・講演学会) (著書発行年月・講演年月) 医療従事者を対象とした新型コロ 第 119 回日本内科学会講演会 2022年4月17日 西村知泰 ナウイルス感染状況調査